

2026年 1月 2月 3月 バレエ音楽
室内楽演奏会シリーズ

チャイコフスキー：白鳥の湖より

ピアノ:塚越恭平 ヴァイオリン:本橋はる子 チェロ:谷口宏樹

リムスキー・コルサコフ：シェヘラザード
プロコフィエフ：ロミオとジュリエット 他

ヴァイオリン:本橋はる子 ピアノ:西山雅千

チャイコフスキー：くるみ割り人形 他

ピアノ:奥村友美 ピアノ:西山雅千

入場料 500円（お申し込み不要）

主催：今井館教友会

会場：今井館聖書講堂

文京区本駒込6-11-15

Tel: 03-6277-5669

月・水・金 10:00~17:00





<ピアノ：塚越恭平>

千葉県生まれ。東邦音楽大学演奏家コース卒業。第66回日本学生音楽コンクール東京大会高校の部入選。第6回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール第2位。第11回サンハート・アンサンブル・コンクール最優秀賞、アルソ出版社賞を受賞。クロレ四重奏団として活動。これまでに、太田幸子、藤井一興、マーティン・ヒューズの各氏に師事。



<チェロ：谷口宏樹>

神奈川県横浜市出身。8歳よりチェロを始める。東京音楽大学卒業。現在は、シアターオーケストラトウキョウをはじめとするオーケストラ、室内楽者として東京を拠点に活動するほか、テレビ収録、レコーディング、ミュージカル、ライブサポートなどで活躍。またNHK「ゆうがたクインテット」にて演奏指導を勤めるなど、幅広い活動を展開している。ホテルオーケストラ・パロンコンサート、ホテル談話館ディナーショー、FESTIVAL MUSIK GEDUNG KESENIAN JAKARTAなど、これまで多数の演奏会に出演。栃木フィルハーモニー交響楽団とコンチェルトを共演。



<ピアノ：奥村友美>

静岡県浜松市出身。4歳よりピアノを始め、第46回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位受賞。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業時に同声会賞および読売新人賞受賞。19歳でパデレフスキー国際ピアノコンクール（ポーランド）第1位受賞。2001年に渡独し、財団法人ロームミュージックファンデーションの奨学生として、ベルリン音楽大学ハンスアイスラー及び同大学院にて研鑽を積む。2005年ケルン国際ピアノコンクール第3位。2006年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール（スイス）第3位を受賞、副賞としてコンサート契約を交わし、ボーデン湖音楽祭、チェスキークルムロフ音楽祭に招待されるなどヨーロッパを中心にリサイタルやオーケストラとの協演を果たす。2008年ベルリン音楽大学ハンスアイスラー大学院を最高位の成績で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。同年ドイツ、チェコ5都市でのコンチェルトツアーも好評を博した。浜松フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ブランデンブルク管弦楽団、西ドイツ放送交響楽団、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、チェコ国立モラヴィアフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラと協演。NHK-FM「名曲リサイタル」、第30回横浜市国際招待ピアノ演奏会に出演するなど国内外にてソロ・室内楽の分野で意欲的に活動する。2019年、映画「蜜蜂と遠雷」にて主演栄伝重役（松岡茉優）のピアノ演技指導と手の吹替を担当。これまでに安倍紀子、故・中島和彦、倉沢仁子、播本枝未子、ゲオルク・サヴァの各氏に師事。現在演奏活動の傍ら国立音楽大学、長野県小諸高等学校音楽科にて後進の指導にあたっている。

ホームページ <http://tomomiokumura.com>



<ピアノ：西山雅千>

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。1999年に渡英して英国王立音楽院、英国王立音楽大学を卒業。国内外のコンクールで数々の賞を受賞。18年間、ロンドンを拠点にヨーロッパと日本での数多くのコンサート、音楽祭で精力的に演奏活動を行い、テレビやラジオなどにも出演する。ソロでの演奏活動に加え、器楽や歌とのアンサンブルの経験も多い。イギリスでは、主要なホールでのコンサートの他にオックスフォード大学、ロンドン大学、サザーク大聖堂、ブリストル大聖堂、また在英日本大使公邸、オーストリア大使館など大使館系でも演奏する。2011年、ロンドンのセント・ジェームズ・チャーチ・ピカデリーでショスタコーヴィチのピアノとトランペットの為のコンチェルトをBBC交響楽団のトランペット奏者Martin Hurrell氏と共演しMusic&Vision(英)より「非常に驚くべき演奏」と絶賛される。ライフワークであるバッハ・ゴルトベルク変奏曲プロジェクトとして30回以上のリサイタルをイギリス各地で行っておりClassical Source(英)より好評を得る。2002年にイギリスで行われたダドリー国際ピアノコンクールでは、ラヴェルの演奏が評価され音楽雑誌Piano Magazinで取り上げられる。ロンドンのショット・ミュージック店でのMarlborough Recital Seriesのアーティスト・ディレクターとして2011年から様々なコンサートの企画・演奏を行い、日本でも同シリーズを2017年から開催している。2020年にモスクワから帰国し、現在日本を拠点に音楽活動を行い、国内外のピアノコンペティションの審査も務める。これまでに林秀光、加藤朋子、James Lisne、Yonty Solomon、Jacques Ruvier、Vanessa Latache、Joseph Seiger、Clifford Bensonの各氏に師事。

ホームページ <http://www.masachinishiyama.com>



<ヴァイオリン：本橋はる子>

東京藝術大学卒業、同年2002年に渡英。YBP国際コンクールシニア部門優勝。Juneses Musicales International Competition (セルビア)にて最優秀ヴァイオリスト。国際芸術連盟新人オーディション合格と共に審査委員特別賞を受賞。1997年、Pacific Music Festivalに指揮者佐渡裕氏の推薦により最年少で参加。英国においては、2005年、王立音楽院演奏家ディプロマコース終了、ディプロマ並びに終了演奏成績優秀によりDiploma Awardを合わせて受賞。音楽院在学中にWilfred Parry Prize、Mortimer Development Awardsを受賞。2007年、ロンドン大学より現代音楽専攻にて修士を取得。2012年、王立音楽大学より理学修士を取得。(演奏家を医学・脳科学の観点より研究。卒業論文「ヴァイオリンの修復技術に関して」英国科学博物館関連プロジェクト、指導教授Aaron Williamon) ロンドン、オックスフォード、ブリストルを始め様々な場所にてコンサートや音楽祭に出演。現代音楽に学生時代より意欲的に取り組み、様々な作曲家の曲を初演。2008年にはロンドンにてDavid Owen作曲、ヴァイオリン協奏曲の世界初演、Roger Redgate指揮、Goldsmiths College Orchestraと共演。現代音楽サマースクールとして名高いBritten-Pears Young Artists Programmeより二度招待を受け、故Oliver Knussen、Collin Matthews、Magnus Lindbergなど現代を代表する著名な作曲家達に師事、コンサートにて共演。これまでに、蓬田清重、清水高師、Remus Azoiteiに師事。2013年に11年に渡るイギリスでの音楽活動を終え帰国。現在は、ソロ・室内楽演奏活動の他、全国各地のオーケストラの客演をフリーランスとして活動。2014年にピアニスト奥村友美とデュオを結成、2022年にアンサンブル・フォース結成(ヴァイオリン:本橋はる子 ヴィオラ:中村紀代子 チェロ:懸田貴嗣 ピアノ:西山雅千) 弦楽トリオ、ピアノカルテットを中心にゲストを迎え様々な編成にて室内演奏活動を企画予定。

ホームページ www.motohashiharuko.com